

第9章 整備事業の考え方と整備基本方針

1 整備の基本理念

史跡五色塚（千壺）古墳 小壺古墳の整備は、第1章で見た上位計画に照らしてみると、『新・神戸市基本構想』の「第4 国際性にあふれる文化交流のまち」の中の「神戸らしい文化の創造」および『第5次神戸市基本計画』の「第3部 ひとを育み新たな豊かさを創造する」に含まれる「市内各地に存在する有形無形の歴史的・文化的資源を活かし、文化に対する理解を促進し、まちや地域への愛着を育み、地域文化を振興します。」に基づくものである。また、『神戸市緑の基本計画（グリーンコウベ21 プラン）』において「神戸のシンボルとなる公園」と位置づけられており、都市公園としての整備も求められている。

史跡五色塚（千壺）古墳 小壺古墳は住宅地に囲まれ、早くから都市化が進んでおり、最寄りの交通機関からのアクセスも便利である。周辺には多様な文化財が点在し、大型集客施設が立地しているなど、産業・観光の振興の視点からも整備・活用を考えていくことが必要である。

本計画では、史跡五色塚（千壺）古墳 小壺古墳の本質的価値を確実に保存・継承することを第一に考え、学校教育や地域振興などにおいて積極的な活用をはかるとともに、その本質的価値をわかりやすく伝え、市民に広く愛され親しまれる都市公園として整備することを基本理念として設定する。

2 整備の基本方針

第5章で示した課題と第6章で示した大綱・方向性と方法を受けて、本史跡の整備のための基本方針を次のように定める。

(1) 本質的価値の保存に関する整備

- ・五色塚古墳前方部の葺石露出展示を維持し、その保護や修復方法について検討する。
- ・すでに復元されている五色塚古墳・小壺古墳の復元内容をより充実させるために必要な調査を実施し、適切な整備を行う。
- ・史跡に追加指定された市営住宅跡地部分は盛土を行い、遺構などを確実に保護しながら、発掘調査の成果に基づき、遺構等を復元的に表示する。

(2) 史跡の価値を顕在化する整備

- ・解説板を適切に配置することで、史跡の本質的価値をわかりやすく伝える。
- ・多言語での解説やAR・VRなどを用いたデジタルコンテンツ開発などの検討を行う。
- ・本史跡の特徴を視覚的に表現できるよう、景観の改善を図っていく。

(3) 歴史文化資産を活かした地域づくりに貢献する整備

- ・ 史跡の歴史や本質的価値をより分かりやすく伝えるため、児童・生徒の団体見学における解説や体験学習が行える機能も含めたガイダンス施設を設置する。あわせて、重要文化財に指定された五色塚古墳出土品を現地で公開し、適切に収蔵・保管できる機能を備えるものとする。
- ・ 史跡指定範囲外においては、遊具の設置など公園の機能を検討する。
- ・ 都市公園として、緑地の整備や休憩用設備及び防災設備の設置及びバリアフリーに向けた整備を行う。
- ・ 史跡範囲内の駐車場は、多目的な活用に向けた整備を行いながら、公共交通機関で来訪する見学者のための整備について検討する。

(4) 周辺の歴史文化遺産を活用する整備

- ・ ガイダンス施設に地域の文化財周遊の拠点ともなる機能を付加する。
- ・ 現在駐車場の部分を多目的広場として整備し、史跡地の整備として望ましい代替地への移転が困難なため当面の間は使用する。